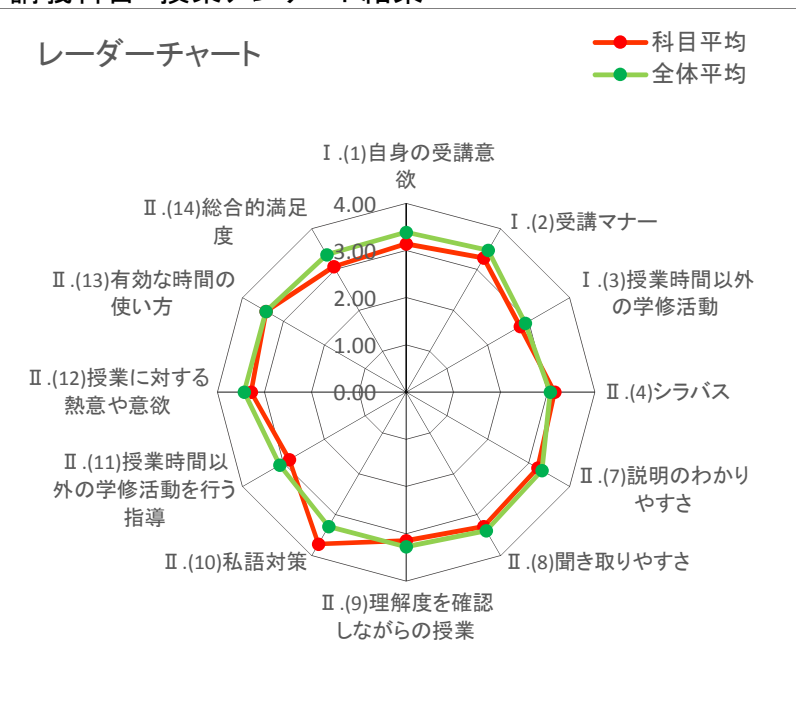
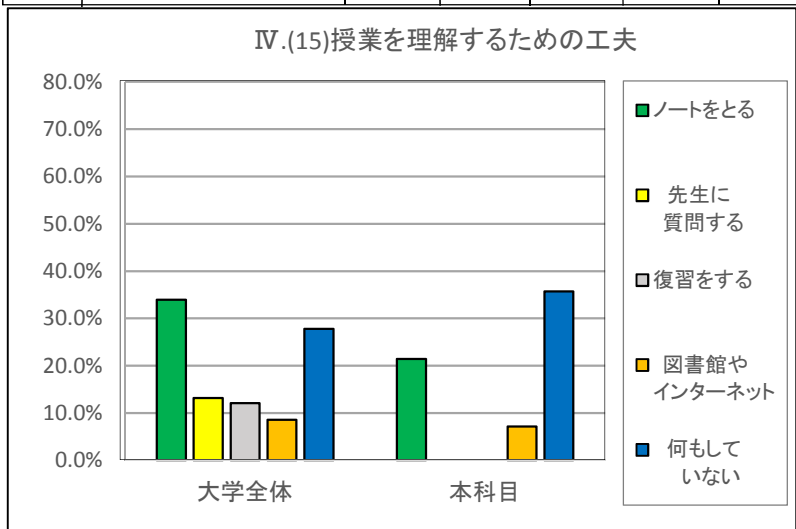


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	35.7%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.14	3.39
	I.(2)	3.29	3.47
	I.(3)	2.79	2.91
受講内容・方法	II.(4)	3.14	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.21	3.32
	II.(8)	3.29	3.39
	II.(9)	3.14	3.27
	II.(10)	3.71	3.28
	II.(11)	2.86	3.09
	II.(12)	3.29	3.43
	II.(13)	3.43	3.43
満足度	II.(14)	3.07	3.36

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.07	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.26	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.07	3.36
III.(14)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	13309
科目名	法の仕組みとビジネス
教員名	

①授業計画の達成度について

授業計画に従い順次進めており、事前に資料配付するなどして予習の機会を提供している。学生があらかじめそれを参考に予習している様子はない。講義を受動的に聴くだけであるので、シラバスに記載の各回のテーマ内容を身につけられているかという、かならずしも十分であるということとはできない。

②授業の進め方について

15回の各回のテーマにおいて、重要判例を引用し具体的事件に接することにより法律制度を学習できるようにしている。事実関係や法律制度を学生が理解しやすいように、あまり多くの事柄を講義するのではなく、適量をゆっくりと講義しており、難易度としては易しいのではないかと思う。六法を持ってくるよう注意を喚起している。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

法律全体を広く浅く講義する科目であるから、あまり法律の基礎概念の習得、解釈といったことにこだわらず、世の中の法律問題の重要なテーマを学ぶことができ興味あるものとなるようにしたい。年によって全体的な満足度が高かったり低かったりするが、判例や図表などを多く盛り込みビジュアルな素材を活用したい。